

中学校数学科

第3学年

6 三平方の定理

[知識・技能の習得を図る問題]

中学校

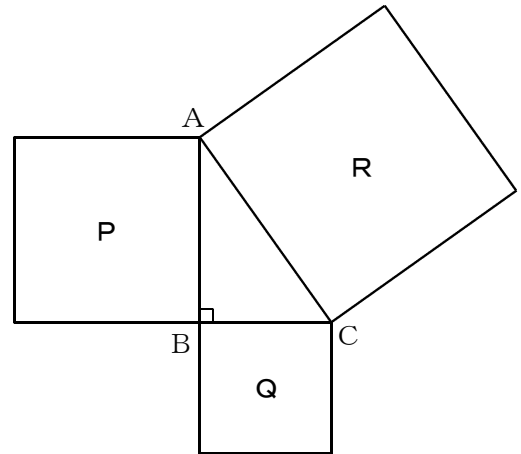
年 組 号 氏名

■知識・技能の習得を図る問題

年 組 号 氏名

■練習問題①

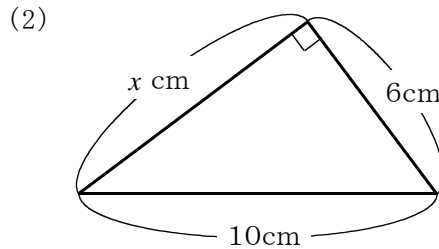
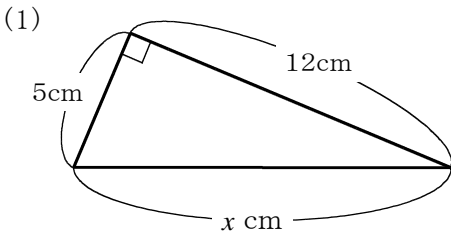
1 右の図は、直角三角形ABCの各辺を1辺とする正方形をそれぞれかいたものです。正方形Pの面積が 8 cm^2 、正方形Qの面積が 4 cm^2 であるとき、正方形Rの面積を求めなさい。また、辺ACの長さを求めなさい。



【解答】

Rの面積	cm^2 , ACの長さ	cm
------	-----------------------	----

2 次の(1)から(4)の図で、 x の値をそれぞれ求めなさい。

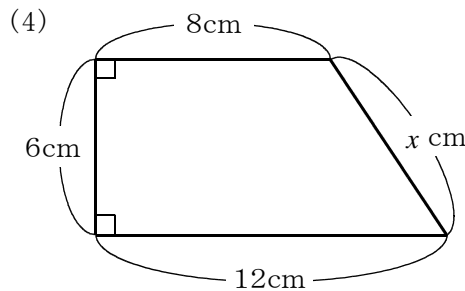
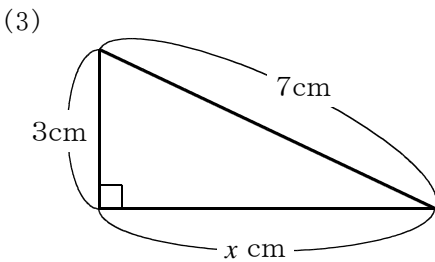


【解答】

$x =$	cm
-------	----

【解答】

$x =$	cm
-------	----



【解答】

$x =$	cm
-------	----

【解答】

$x =$	cm
-------	----

3 次の長さを3辺とする三角形のうち、直角三角形はどれですか。その番号を答えなさい。

- ① 2 cm, 3 cm, 4 cm
- ② 4.5 cm, 6 cm, 7.5 cm
- ③ $\sqrt{7}$ cm, $3\sqrt{2}$ cm, 5 cm

【解答】

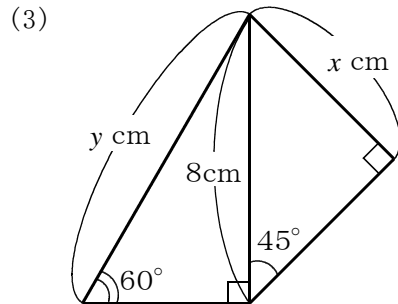
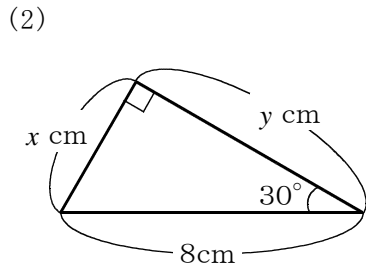
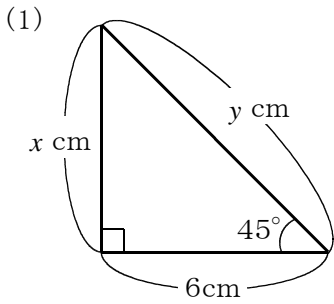
--

■知識・技能の習得を図る問題

年 組 号 氏名

■練習問題②

1 次の(1)から(3)の図で、 x 、 y の値をそれぞれ求めなさい。



【解答】

$x =$	cm
$y =$	cm

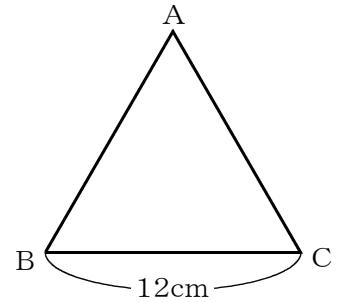
【解答】

$x =$	cm
$y =$	cm

【解答】

$x =$	cm
$y =$	cm

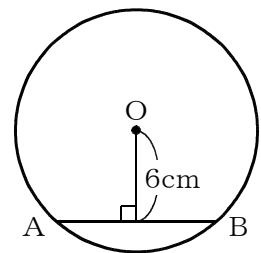
2 右のような1辺の長さが12cmである正三角形ABCの高さと面積を求めなさい。



【解答】

高さ	cm, 面積	cm^2
----	--------	---------------

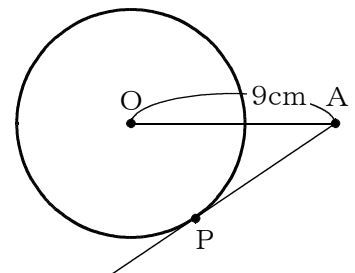
3 右のような半径8cmの円Oがあります。中心Oからの距離が6cmである弦ABの長さを求めなさい。



【解答】

cm

4 右のような半径5cmの円Oがあります。中心Oから9cmの距離にある点Aから接線APをひくとき、APの長さを求めなさい。



【解答】

cm

■知識・技能の習得を図る問題

年 組 号 氏名

■練習問題③

1 次の座標をもつ2点間の距離を求めなさい。

(1) $A(2, 2), B(5, 6)$

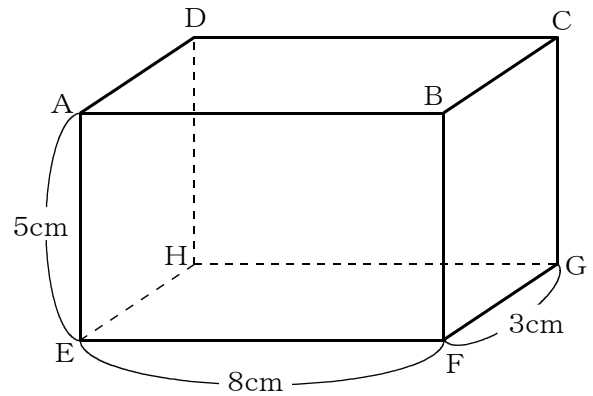
(2) $C(-4, 3), D(6, -2)$

【解答】

【解答】

2 右の図のような直方体があります。次の(1), (2)の各問いに答えなさい。

(1) EGの長さを求めなさい。



【解答】

 cm

(2) 対角線AGの長さを求めなさい。

【解答】

 cm

3 1辺の長さが6cmである立方体の対角線の長さを求めなさい。

【解答】

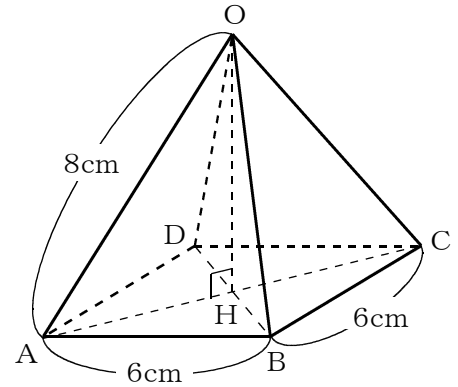
 cm

■知識・技能の習得を図る問題

年 組 号 氏名

■練習問題④

1 右のような正四角錐^{すい}OABCDがあります。底面ABCDは、1辺の長さが6cmの正方形で、他の辺の長さは、すべて8cmです。次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。



(1) 正四角錐OABCDの高さを求めなさい。

【解答】

cm

(2) 正四角錐OABCDの体積を求めなさい。

【解答】

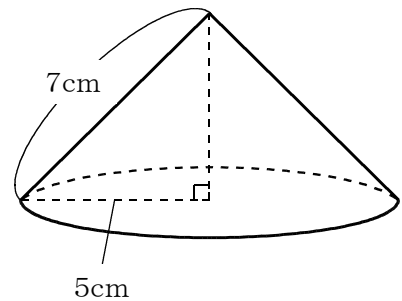
cm^3

(3) 正四角錐OABCDの側面積を求めなさい。

【解答】

cm^2

2 右の図のような円錐があり、底面の半径は5cmで、母線の長さは7cmです。次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。



(1) この円錐の高さを求めなさい。

【解答】

cm

(2) この円錐の体積を求めなさい。

【解答】

cm^3

中学校数学科

第3学年

6 三平方の定理

[知識・技能の習得を図る問題]

[解答例]

中学校

年 組 号 氏名

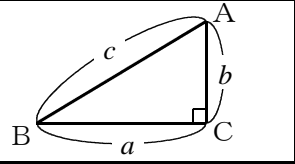
■知識・技能の習得を図る問題[解答] 年 組 号 氏名

■練習問題①

●三平方の定理●

直角三角形の直角をはさむ2辺の長さを a, b ,
斜辺の長さを c とすると, 次の関係が成り立つ。

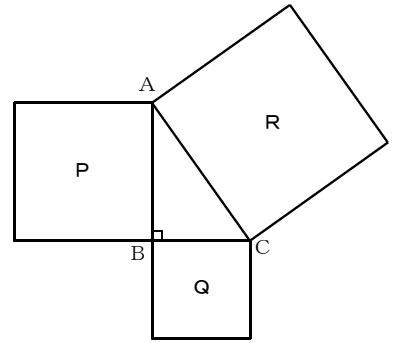
$$a^2 + b^2 = c^2$$



- 1 Rの面積 12cm^2 , ACの長さ $2\sqrt{3}\text{cm}$

【ポイント】

Pの面積 $= AB^2$, Qの面積 $= BC^2$, Rの面積 $= AC^2$ であり,
三平方の定理より, $AC^2 = AB^2 + BC^2$ だから,
Rの面積 $= P$ の面積 $+ Q$ の面積 $= 8 + 4 = 12 (\text{cm}^2)$
となるね。
 $AC^2 = 12$ で, $AC > 0$ より, $AC = 2\sqrt{3}\text{cm}$ となるね。

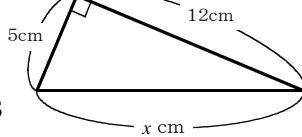


- 2 (1) $x = 13 (\text{cm})$ (2) $x = 8 (\text{cm})$ (3) $x = 2\sqrt{10} (\text{cm})$ (4) $x = 2\sqrt{13} (\text{cm})$

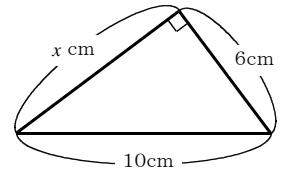
【ポイント】

次のように, 三平方の定理を使って求めることができるね。また, (1), (2)のように,
3辺の長さの比が $3 : 4 : 5$ や $5 : 12 : 13$ になる場合は, 必ず直角三角形になります。
問題にもよく出てくるので, 覚えておいた方がいいね。

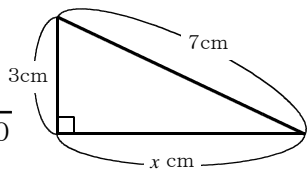
(1) $5^2 + 12^2 = x^2$
 $x^2 = 25 + 144$
 $x^2 = 169$
 $x > 0$ より, $x = 13$



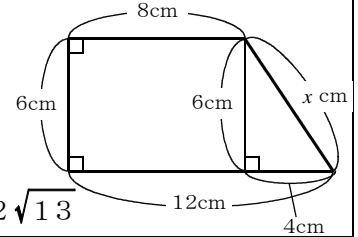
(2) $x^2 + 6^2 = 10^2$
 $x^2 = 100 - 36$
 $x^2 = 64$
 $x > 0$ より, $x = 8$



(3) $x^2 + 3^2 = 7^2$
 $x^2 = 49 - 9$
 $x^2 = 40$
 $x > 0$ より, $x = 2\sqrt{10}$



(4) $12^2 - 8^2 = 4^2$
 $4^2 + 6^2 = x^2$
 $x^2 = 16 + 36$
 $x^2 = 52$
 $x > 0$ より, $x = 2\sqrt{13}$



- 3 ②, ③

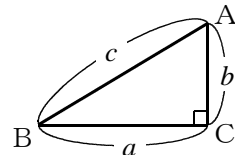
【ポイント】

それぞれ, 三平方の定理の逆にあてはまるかどうかを調べるといいね。

- ①は, $2^2 = 4, 3^2 = 9, 4^2 = 16$ で,
 $4 + 9 = 13$ だから, 直角三角形ではないね。
②は, $4.5^2 = 20.25, 6^2 = 36, 7.5^2 = 56.25$ で,
 $20.25 + 36 = 56.25$ だから, 直角三角形だね。
③は, $(\sqrt{7})^2 = 7, (3\sqrt{2})^2 = 18, 5^2 = 25$ で,
 $7 + 18 = 25$ だから, 直角三角形だね。

●三平方の定理の逆●

$\triangle ABC$ で,
 $BC = a, CA = b, AB = c$,
とすると,
 $a^2 + b^2 = c^2$ ならば, $\angle C = 90^\circ$



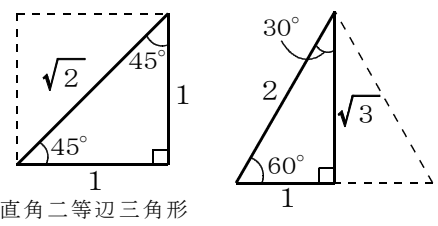
■知識・技能の習得を図る問題[解答] 年 組 号 氏名

■練習問題②

1

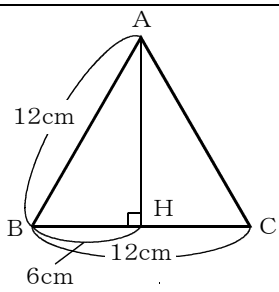
- (1) $x = 6$ (cm) $y = 6\sqrt{2}$ (cm) (2) $x = 4$ (cm) $y = 4\sqrt{3}$ (cm) (3) $x = 4\sqrt{2}$ (cm) $y = \frac{16\sqrt{3}}{3}$ (cm)

【ポイント】
 右下の図のように、 45° の角をもつ直角三角形の3辺の長さの比は、 $1 : 1 : \sqrt{2}$ 、 60° または 30° の角をもつ直角三角形の3辺の長さの比は、 $1 : \sqrt{3} : 2$ だね。
 このことを使って求めることができるね。
 (3)については、次のように求めることができるね。

$x : 8 = 1 : \sqrt{2}$	$y : 8 = 2 : \sqrt{3}$	 <p>直角二等辺三角形</p>
$\sqrt{2}x = 8$	$\sqrt{3}y = 16$	
$x = \frac{8 \times \sqrt{2}}{\sqrt{2} \times \sqrt{2}}$	$y = \frac{16 \times \sqrt{3}}{\sqrt{3} \times \sqrt{3}}$	
$x = 4\sqrt{2}$	$y = \frac{16\sqrt{3}}{3}$	

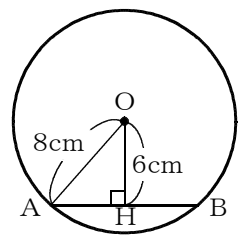
- 2 高さ $6\sqrt{3}$ cm , 面積 $36\sqrt{3}$ cm²

【ポイント】
 頂点Aから辺BCに垂線AHをひくと、Hは辺BCの midpoint になり、 $BH = 6$ cm となるね。 $\triangle ABH$ において $\angle AHB = 90^\circ$ だから、三平方の定理を使って、高さAHを求めることができるね。

$AH^2 + 6^2 = 12^2$	$\triangle ABC = \frac{1}{2} \times 12 \times 6\sqrt{3}$	
$AH^2 = 108$	$= 36\sqrt{3}$ (cm ²)	
$AH = 6\sqrt{3}$ (cm)		
高さAHについては、 $\angle ABH = 60^\circ$ だから、 $BH : AH = 1 : \sqrt{3}$ であることを使って、求めることもできるね。		

- 3 $4\sqrt{7}$ cm

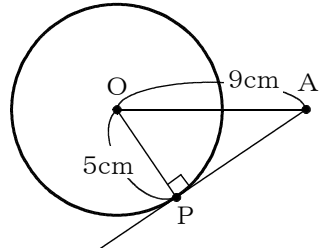
【ポイント】
 中心Oから弦ABにひいた垂線と弦ABとの交点をHとすると、 $\triangle OHA$ は、直角三角形だから、

$AH^2 + 6^2 = 8^2$	
$AH^2 = 64 - 36$	
$AH^2 = 28$	
$AH = 2\sqrt{7}$ (cm)	

$AB = 2AH$ だから、
 $AB = 2 \times 2\sqrt{7} = 4\sqrt{7}$ (cm) となるね。

- 4 $2\sqrt{14}$ cm

【ポイント】
 APは円Oの接線で、 $\angle OPA = 90^\circ$ だから、

$AP^2 + 5^2 = 9^2$	
$AP^2 = 81 - 25$	
$AP^2 = 56$	
$AP = 2\sqrt{14}$ (cm) となるね。	

■知識・技能の習得を図る問題[解答] 年 組 号 氏名

■練習問題③

1

- (1) 5 (2) $5\sqrt{5}$

【ポイント】
 右のように座標平面上に直角三角形をつくり、三平方の定理を使って求めるといいね。

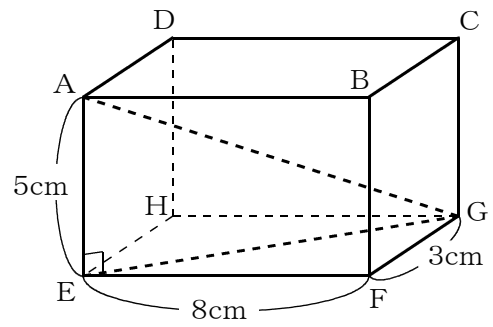
(1) $AH = 5 - 2 = 3$, $BH = 6 - 2 = 4$
 $AB^2 = 3^2 + 4^2 = 25$
 $AB = 5$

(2) $CK = 3 - (-2) = 5$
 $DK = 6 - (-4) = 10$
 $CD^2 = 5^2 + 10^2 = 125$
 $CD = 5\sqrt{5}$

2

- (1) $\sqrt{73}$ cm

【ポイント】
 $\triangle EFG$ は、右のような直角三角形だから、
 $EG^2 = 3^2 + 8^2 = 73$
 $EG = \sqrt{73}$ (cm)
 となるね。



- (2) $7\sqrt{2}$ cm

【ポイント】
 $\triangle AEG$ は、右のような直角三角形だから、
 $AG^2 = 5^2 + (\sqrt{73})^2 = 25 + 73 = 98$
 $AG = \sqrt{98}$
 $AG = 7\sqrt{2}$ (cm)となるね。

- 3 $6\sqrt{3}$ cm

【ポイント】
 右のような立方体のAGの長さを求めるといいね。

$EG^2 = 6^2 + 6^2 = 72$
 $EG = \sqrt{72} = 6\sqrt{2}$ (cm)
 $AG^2 = 6^2 + (6\sqrt{2})^2 = 36 + 72 = 108$
 $AG = \sqrt{108} = 6\sqrt{3}$ (cm) となるね。

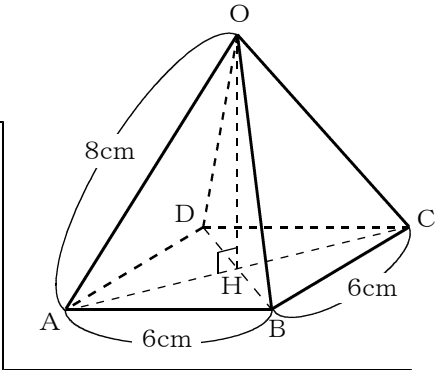
■知識・技能の習得を図る問題[解答] 年 組 号 氏名

■練習問題④

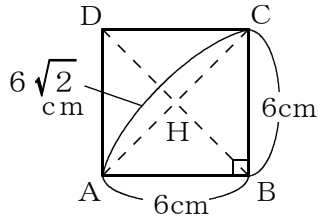
1

(1) $\sqrt{46}$ cm

【ポイント】
 線分OHの長さが、この正四角錐の高さだね。
 $\triangle OAH$ で、 $OA = 8$ (cm),
 $AH = \frac{1}{2}AC = \frac{1}{2} \times 6\sqrt{2} = 3\sqrt{2}$ (cm)
 $\angle OHA = 90^\circ$ だから、
 $OH^2 = OA^2 - AH^2$
 $= 8^2 - (3\sqrt{2})^2$
 $= 64 - 18 = 46$
 よって、 $OH = \sqrt{46}$ (cm)となるね。



右図のように、 $\triangle ABC$ は、
 等しい辺が6cmの直角二等
 辺三角形で、3辺の比は、
 $1 : 1 : \sqrt{2}$ となるから、
 $AC = 6\sqrt{2}$ (cm)となるね。

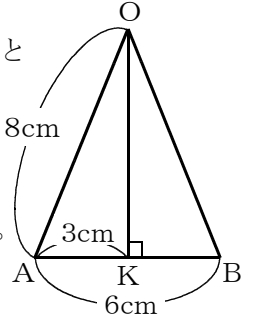


(2) $12\sqrt{46}$ cm³

【ポイント】
 角錐の体積は、 $\frac{1}{3} \times (\text{底面積}) \times (\text{高さ})$ だから、
 $\frac{1}{3} \times 6^2 \times \sqrt{46} = 12\sqrt{46}$ (cm³)となるね。

(3) $12\sqrt{55}$ cm²

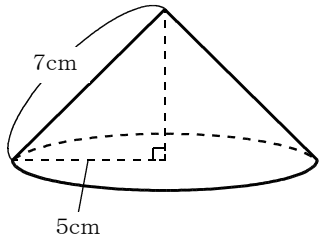
【ポイント】
 点OからABに垂線OKをひくと、 $AK = 3$ (cm)と
 なるから、 $OK^2 = 8^2 - 3^2 = 55$
 よって、 $OK = \sqrt{55}$ (cm)となるね。
 側面積は、 $\triangle OAB$ の面積の4倍だから、
 $4 \times \frac{1}{2} \times 6 \times \sqrt{55} = 12\sqrt{55}$ (cm²)となるね。



2

(1) $2\sqrt{6}$ cm

【ポイント】
 求める円錐の高さを x cm とすると、
 $x^2 = 7^2 - 5^2 = 49 - 25 = 24$
 $x = \sqrt{24} = 2\sqrt{6}$ (cm)となるね。



(2) $\frac{50\sqrt{6}}{3} \pi$ cm³

【ポイント】
 円錐の体積は、 $\frac{1}{3} \times (\text{底面積}) \times (\text{高さ})$ だから、
 $\frac{1}{3} \times 5^2 \pi \times 2\sqrt{6} = \frac{50\sqrt{6}}{3} \pi$ (cm³)となるね。